

## 第14回市民協働指針検討委員会 会議録

日 時	平成19年7月26日(木) 18:45~21:00
場 所	202会議室
出席者	委 員 泉谷 清、鎌倉 洲夫、小杉 恵津子、吉田 愛子 久保 純一、松本 史典、瀬川 真弓 恵庭市 企画財政部次長 北林 剛 広報広聴課長 吉田 真俊
<p>1. 質疑及び意見交換</p> <p>事務局： 前回にひきつづき、6ページから修正していきます。</p> <p><a href="#">⇒修正内容へ</a></p>	

## 協働

### 3 市民と行政が協力して進めるまちづくりの課題

~~参加から参画へと市民にとって行政が身近になり、さらに市民と行政がパートナーとし~~

~~て対等な関係で協力しながら個性的なまちづくりを目指して~~ <sup>進めて</sup>いくためには、次のような課題を解決する必要があります。

#### 1) 協力と連携に対する共通認識

市民と行政の相互理解を進めるとともに、<sup>協働に対する</sup>~~協力と連携に対する~~市民と行政の一致した考え方を確立する必要があります。

また、地域コミュニティの中で、市民どうしが共に支え合い協力し合う<sup>こと</sup>“市民相互の協力と連携”への理解も必要です。

#### 2) 情報の公開と共有化

行政がもつ情報の公開と行政の説明責任を果た<sup>し、</sup>~~す~~ことは当然のこと、そうした情報を分かりやすく伝える工夫が必要です。

市政や地域に関する多種多様な情報や市民の意見、市民活動団体の活動状況など、~~市民と行政それぞれが持つ~~情報を、これまで以上に共有できる仕組みを<sup>作る</sup>~~整備する~~ことが必要です。

#### 3) 協力と連携の仕組みと環境づくり

~~すべての市民がまちづくりを考えたり、容易にまちづくりに関わることができるように、~~  
<sup>相互交流、情報交換のできる活動拠点や活動を支える仕組みづくりが</sup>~~活動を支える仕組み、相互交流や情報交換のできる仕組みや活動拠点の整備が~~必要です。

#### 4) まちづくりへの意識の醸成とまちづくりを担う人材の確保

~~市民によるまちづくりの活動は単なる行政の下請けでしかないという意識から脱皮し、~~  
<sup>市民一人ひとりが</sup>~~すべての市民が身近なまちづくりの課題の解決に自主的に関わって~~いこうという意識を持つことが必要です。

<sup>が協力して、</sup>~~また、市民と行政の役割分担に基づく協力関係について十分理解して、地域活動や市民活動を担う人材が育つ手立てを講じていく~~ことが必要です。

#### 5) 市民と行政の<sup>協働</sup>協力を評価する仕組みづくり

市民と行政が<sup>協働した</sup>協力して実施した事業<sup>については</sup>、さらに改善していくために協力と連携の視点を加えた評価の仕組みを確立する必要があります。

## 4 市民協働のまちづくりの進め方

### 市民協働の考え方と課題を

基本原則と役割分担の考え方をふまえて、~~幸せと豊かさ、安らぎを実感できるまちをつくり育てることを目指し、~~市民と行政それぞれの役割を担い市民協働のまちづくりに取り組みます。

#### 1) 市民の役割

市民や市民活動団体等は自主性と自己責任のもと、それぞれが持つ知識と~~経験~~<sup>や</sup>技術を活かし、日常的課題や地域的課題の解決に向け~~積極的な活動~~<sup>向けた</sup>を推進し、住みよい~~まち~~<sup>まち</sup>地域づくりに努めます。

##### ① 地域活動への参加

市民一人ひとりが、地域に貢献することの意義と補完性の考え方を理解し共有して、地域づくりの課題の発見から解決まで進んで関わり、取り組んでいきます。

##### ② 地域<sup>地域</sup> 公益的活動の推進

市民の専門的な知識や~~能力~~<sup>経験</sup>を、地域活動やNPO活動、ボランティア活動や企業などの公益的な活動に~~の社会貢献活動、協働事業の評価など、お互いが支えあう地域づくりに活かして~~いきます。

##### ③ 情報の共有

行政が提供する情報を受け入れるだけでなく、市民~~一人ひとり~~<sup>は</sup>が積極的に情報の収集と公開に努めます。

##### ④ 参加協働機会の活用と~~参画~~<sup>参画</sup>

行政が設置し実施するパブリックコメントや審議会、各種委員会等への~~関心を高~~<sup>をもち</sup>め、まちづくりへの~~参加機会~~<sup>参画</sup>と捉え積極的に活用を図ります。また、必要なときは市民自らそれらの設置に努めます。

### ここまで

#### 2) 行政の役割

行政は参加と協働による事業を行うなどの適切な施策を実施し、協働によるまちづくりが活発に行われる環境づくりに努めます。

##### ① 意識の改革と担い手の確保

市民協働のまちづくりを積極的に進めていく上で、それを支える人材の確保が重要です。このための手立てとして、リーダー研修会や人材養成講座などを実施するほか、市民活動団体などが自主的に行う人材育成を支援します。さらに、ボラ

